

トラック 1

うん、似合ってるよ♪

どうしたの？そんな顔をして。

ふうーん、キミには記憶がないんだ。

そっかぁー。じゃあ、教えてあげるね♪

ボクは兎塚ラビナ。兎人族さ。

ほら、兎の耳に、兎の尻尾も生えているでしょ？

人間ペットショップでキミを買った、

キミの飼い主なんだ♪

この世界はね、人間を異種族が飼う世界で、

キミはボクに愛玩動物兼種雄として買われたんだ。

あははっ、意味が分からないって？

そう言われてもそれが事実なんだから。

え？ペットを種雄にして良いのかって？

大丈夫、同族よりも人間の方が良いって言う牝は、少なくないんだよ？

ちなみにボクは――

うふふっ♪

ボクってすごく性欲が強いんだあー。

それに愛情も深くってね？

番にする牡は、こんな風に部屋に閉じ込めて

ずうっとボクだけが愛でていたいっていう願望があったんだ。

流石に同族にそんなことは出来ないんだけど、

ペットなら？

——うふふっ♪

その顔、分かったみたいだね。

大丈夫、怖くないよ。

ボク、キミのこと、好みだからさあ、

たあっつつぷり、ここで優しく愛でてあげるから、ね？

たっくさんボクとエッチなことして、

ボクにいっぱい子兔を産ませてね？

ふふっ、こわくなーい、こわくなーい。

じゃあ、早速、

味見、しちゃおっかな♪

トラック 2

あはあっ♡

押し倒されちゃったねえ。

兎人族は

非力な方だけど、

人間よりは全然力は強いんだよ。

逃げようとしたって無駄無駄あ。

それに、窓もはめ殺しだし、

この部屋の出入りには

ボクの虹彩認証が必要さ。

キミは絶対に逃がさないんだから。

まあ、どうしても嫌って言うのなら、

流石に考えなくもないけど――

ペットショップに返品して、

また別の子を

探してもらわないとなあ。

だけど、ボク、キミのこと

もう気に入っちゃってるし――

そ・れ・に、……ふふ、

ここ、硬くなってるよ？

こんな風に押し倒されてるのに

こうなってるって、

キミも満更でもないんじゃないか♪

じゃあ……、

ンッ、ちゅっ、

キミの唇、美味しい……。

これだけでもう

相性が良いって分かつちゃうよ。

ほら、舌、出して？

いっぱいペロペロしょ？

ふふ、お利口。

キミも乗り気じゃないか。

ンれろお……。

ちゅっ、くちゅっ、れりゅうっ、

はぁっ、キミの舌も唾も美味しい……

レロレロ……、

ペットショップの店員さんも

良い人間を選んでくれた……

ちゅるうっ。

はあっ、はあっ、キミ、

本当に美味しいねえっ、

口の中も、

れりゅううッ、ンッ、

ちゅるっ、れちゅっ、れちゅっ……。

ちゅぞっ、ちゅぞぞぞぞぞおっ。

ああっ、唾、美味しい……、

いつまでだって吸ってられるよお♡

でも、他の場所も味わいたい……

ンれろお……、

首も美味しい……

レロっ、ちゅっ、ちゅっ。

ぴちゃっ、ぴちゃあっ。

ボクの痕を付けちゃえ、

ちゅーっ、ぱあっ♡

ふふっ、キスマーク、

上手についた。

キミは、ボクのものなんだからね。

ほら、脱がすよ？

……ふふ、乳首、

美味しそう……

ちゅっ、

アハっ♪びくんってした♪

感じちゃった？

可愛い……

その反応、ボク好みだから。

キミのこと、

ますます気に入っちゃった。

こんなの、手放せないよお。

レロっ、

キミ、乳首も美味しい……。

ンれろお……レロレロ、

ちゅううツ。

レロレロっ、

たまらないっ、

病み付きになっちゃう……

ちゅうツ。

はあっ、はあっ、

じゃあ、反対の乳首も……

ちゅっ、れろお……。

はあっ、ンっ、

美味しいっ、美味しいっ。

あむっ、ちゅっ、ちゅっ、

えろっ、

いっぱい、

いっぱいペロペロしたいっ、

キミのこと、

隅々まで愛したいっ♡

チュッ、えろッ、レロっ、

ちゅるるるるるるうっ。

ちゅぽんっ♪

ふふっ、期待、してるね？

おちんちん、ズボンの中で

びくんびくんしてる。

脱がしちゃうよ♡

……あはあ♪

すっごおい、

スンスン、この匂い、

子宮にキュンキュンくるう♡

それに、この太さに長さ、

カリ高だって——素敵♡

はあっ、はあっ、もっ、らめえっ、

味見で、済まなくなっちゃうっ。

美味しそう……、

いただきまあーっす♪

あむうっ、ンッ、

ぢゆるうッ、ぢゅろッ、
れろれろおっ。

アアッ、美味しいっ。
良いよ。キミのおちんぽ、
最高だあっ。

レロっ、れろおっ……、
この竿の味だって、
金玉の味だって……

レロレロ……。

はあっ、はあっ、子宮、
キュンキュンして
止まらないのおっ。

あむッ、ぢゆるッ、ぢゅぞッ、
ぢゅっぽっ、ぢゅっぽっ。
ふはああっ、
我慢汁、美味しいッ。

ぢゆるうッ、ンンンッ。
ぢゅううーッ！

ふはあっ、はあっ、はあっ、
はむっ、ちゅっぽっ、ちゅっぽっ、
ちゅぞぞぞぞぞおッ！

ちゅるっぽッ、ちゅるっぽおッ、
ちゅーっ、ぽんっ！

ふふっ、おちんちん、
すごいビクビクしてるう。

もしかして、もうそろそろ
射精しちゃうそう？

でもだあーめっ。
射精するときは、
ボクのお口じゃなくって、
おまんこで、ね？

出そうになったら無理矢理止めて、
ボクのおまんこの中で
射精させてあげるんだから。

あむっ、ちゅっぽっ、ちゅっぽっ……
ちゅぞッ、ちゅるるるるるうッ、

ちゅぽっ、ちゅぽッ。

あははっ、キツイ？

でも、我慢我慢。

ちゅふうッ、ちゅぞッ、

ちゅるるるるるるうッ、

ちゅぞおッ。

あははっ、根元を抑えてるから

出せないよねえ、

苦しい？

じゃあ、そろそろ……

ンちゅるっ、

デュッ、ちゅぞおッ！

さあっ、

ほらっ、ボクのおまんこだよ。

入れて、あげるからあ。

ンああッ！

良しっ！

あぁッ、アッ、出て、るぅ……、
ボクのおまんこの奥で、
いっぱい……。

あはぁっ、熱くって、
どろっとしてえ……、
まだ、ビクビクしてるぅ……。

え？赤いものが垂れてる？
うん、そうだよ。
キミが初めてのボクのペットだよ♪

アッ、おちんちん、
びくんってしたぁ……♪
ふふっ、痛いのも、
気持ち良い……♪

はぁっ、はぁっ、
全部、出た？
スッキリ、した？
あははっ、それは良かった。

……でも、ね？
これで終わりじゃないんだよねえ♡

トラック 3

何スッキリしちゃった

顔してるのかなあ？

ボクのおまんこに

一回出しただけで

終わりだと思ってるの？

あははっ♪

知ってるんだよお、

キミがまだまだ出来るってこと。

何せ、性欲の強い人間って言って、

ペットショップの店員さんに

勧めてもらったんだからあ。

ほらっ、その証拠に……ンうッ。

ほらっ、ほらあっ、

おちんちん、また硬くなあーれっ♪

——あはあ♪やあっぱり。

ボクの中で大きくなってきた♪

それとも、ボクのおまんこが
そんなに気に入ったのかなあ？

え、そうなの？

本当に

ボクのおまんこを気に入った？

……ちょっと照れるな……

オホン。

でも、それならキミも

嫌じゃないってことだねえ。

じゃあ、また……ンッ、ああんッ。

……アアッ、

もうこんなにガチガチでえ……。

はあっ、はあっ、

ンっ、くふううウンッ。

キミのおちんちんっ、

アあッ、良い所に擦れて……

ふああッ、良いつ、良いよお、

このおちんぽ良いのお、

キスして思ったけど、やっぱりボクらの相性最高う。

ンひいいッ、……ほ、欲しい所に
ぴったりと来てくれるう……。

処女膜破ったばかりでも、
すごい気持ち良いよお。

ンあッ、あああッ、
このまま、このちんぽ
入れたままでいたい……
おホおッ、はあッ、はあッ、
たらまない……、
もっと、もっと激しく感じたいっ。

アッ、アッ、おちんぽッ、
おちんぽビクビクしてるのおッ！

ボクのおまんこの中で……
ンあッ、ああああアンッ、
おっぱいも
ぶるんぶるん揺れちゃって……
キミの視線も感じて
気持ち良いよおッ。

ひいいッ！キミも

突き上げてきてくれて……

アッ、オほおおオンッ！

突いてえ、もっと突いてえ、

ンおッ、おッ、

おホおオオオ〜〜〜ッ！

……ンっ、はあっ、はあっ。

イっ、ちゃったあ……。

でも、ボクがいく時にキミ、

出してくれなかったんだあ……。

一緒にイきたかったなあ……。

キミ、乳首舐められるの

好きだったよねえ、

じゃあ、

レロっ、

ふふっ、おちんぽが

ボクの中でびくんってしたあ……。

レロっ、ちゅうっ、

乳首、気持ち良くして、

キミもイかせてあげるんだからぁ……

ちゅうっ、レロレロ……、

反対側の乳首もお……、

ちゅっ、

キミの乳首に、

ボクの舌の感触、

刻みつけてあげるんだからぁ……

レロおっ。

ふふっ、おちんぼ

ビクビクしてるよぉ……

ちゅっ、レロレロ……

でも、ンッ、ああッ、

ボクの方が、

我慢できなくなっちゃいそうう……。

はぁッ、ンッ、ああンッ……。

ちゅっ、レロレロ……

はぁッ、乳首じゃなくって、

キミの舌を吸いたい、唾を呑みたい……

ンッ、ちゅっ、えろっ、れろおッ。

……うん、美味しい……。

もっとたっぷり舌を絡めて、

とろとろになろう？

ボクのお尻も揉んで良いから……

ンッ、ふふっ、躊躇わずに来たね♪

良いよ、もっと、

ぐにぐにって揉んで、

ボクにキミの手形を刻み込んで……

アアッ。

おちんぽもビクビクしてるのお……。

はぁッ、はぁッ、

もっと、もっとボクのおまんこ

パンパンしてえ、突き上げてえ、

ンッ、ちゅっ、レロッ、れろおっ……。

はぁぁッ、

上も下も蕩けちゃいそうう……。

ンちゅっ、レルレル……。

アアッ、アアッ、良いのお、

このままパンパンされて、

奥でびゅるびゅる

射精されたいのお、

アッ、オほおおオンッ！

ちゅうッ、ちゅるううウッ！

もッ、イクうッ、

ボク、イっちゃううッ、

人間ペットに

おまんこパンパンされて、

イっちゃうのお、

アアッ、おちんぽ膨らんだあ、

出るのお？出るんだねえ、

人間ペットの特濃精子い、

いっぱい、いっぱい

ボクの中に注ぎ込んで、

可愛い子兔を産ませてよお、

ンあッ、おほおおオッ！

アッ、ああああア～～～ッ、

おほおおおオ～～～ッ！

イクぅうウッ！

イっちゃううウッ、

ンちゅっ、レロッ、

れちゅッ、ぢゅるうッ、

ひいいッ、このままッ、

このままイかせてえッ、

それでッ、ボクのおまんこに、

キミの、子種汁を、

オッ、おホおおおオ〜〜〜ッ！

アアッ、出てるう、

どくっ、どくってえ……、

人間精子が

兎人族の

おまんこの中にい……、

ンあッ、いっぱい、

いっぱい注ぎ込んで、

ボクを、孕ませてえ……

ンあッ、……ンふふふふう♪

いっぱい、

ボクの中に出してくれたね。

良いよお、キミは

いい子のペットだよお。

このまま、この部屋の中で、

ボクに飼われて、

いっぱい気持ち良いことをして、

いっぱい、ボクに

可愛い子兔を産ませてねえ、

逃がさないんだから。

ンふっ、ンふふふふふうっ♪

トラック 4

ただいまあ〜。

お利口にしたかな、

ボクの愛しいペットくん♪

離れている間もお、

ボクの子宮はキミの

おちんぽと子種汁が欲しくって、

ずっと、ずうっと

キュンキュン寂しがっちゃってえ。

ン？ どうして

ビクってしたのかなあ？

ボク、怖くないよお？

キミはただでさえ

性欲も精力も強いペットだし、

その上で精力増強剤も

使ってあげてるでしょう？

ちゃんと、いっぱい愛しているし、

気持ち良くしてあげている。

不満なんてない筈だけど……。

うん、じゃあ、

今日は優しく

シてあげることにしようかな？

でも、普段からボク、

優しくシてあげている

筈なんだけどなあ？

ま、良いや。

服を脱いで、と。

あははっ、キミ、

ボクの裸に

目が釘付けだよお？

そんなに

気に入ってくれていて

ボクも嬉しいよ。

ほらほら、

ベッドに座ったボクの

股の間においでよ。

……うふふ、

ビクッとはしていたけど、

素直に来てくれるんだから、

キミもしっかり

期待してくれているんじゃないか。

それなのにビクッとするなんて、

キミは酷い男だなあ。

これはたつぷりと、

優しくシてあげないと……

ね？

おちんちんも、

もうこんなに硬くってえ……

はあ、ン……、

分かる？

ボクの乳首、

硬くなってキミの背中に当たってるの。

ほら、ギュッて。

ボクのおっぱい、大きいから、

キミの背中から溢れちゃう。

——あははっ♪

キミのおちんぽ、

びくんっ、びくんってして、

とおっても悦んでるよ？

じゃ、あ、いっぱい、

いっぱいおちんちん、

シコシコしてあげるね？

耳も、舐め、ながらあ……

レロッ、ぴちゃっ、ぴちゃっ……

ふふふ、おちんちん、

ボクの手握られて、

ビクンビクンしてる。

乳首舐められるのも、

耳を舐められるのも、

キミ、好きだもんねえ……、

レチュっ、れちゅっ……。

はあ、ンッ、ボクもキミの

おちんちんしこしこしてると、昂奮してきちゃう……。

レロっ、ぴちゃあっ……。

キミの逞しい背中に

おっぱいと乳首を擦りつけて、

ボクも気持ち良いんだからあ……

アッ、ううんっ……。

ちゅっ、ちゅっ。

竿だけじゃなくって、

タマタマもモミモミしちゃう。

ここでキミの美味しい子種汁を、

いっっぱい、

作ってるんだよねえ……、

もみ、もみ。

ンれろお……。

はあっ、はあっ、

ほおら、しーこ、しーこお……、

ちゅっ、えろっ、くちゅうっ。

ふふっ、我慢汁、溢れてきた……♪

キミは我慢汁も美味しいから、
こうして垂れ流しにしちゃうのは
もったいなく思っちゃうよ。

チュレロお……。

はあっ、はあっ、
おちんちんビクビクして、
とっても可愛いんだからあ……

ちゅうッ、レルっ、れちよおっ……。

こっちの耳も、
してあげないと寂しいよね。

ンッ、れろおッ、
ちゅっ、ちゅくうっ……。
れちよっ、れちよっ……。
ちゅぞぞ……。

はあっ、はあっ、もっ、ボクも、
昂奮し過ぎてたまらないよ。

ずっと、感じてるよね？

ボクの乳首、ビンビンに
尖り切っちゃって、
すっごく切ないんだあ……
ああンツ。

レロちゅっ、ちゅぞぞっ……。

はあっ、はあっ、キミに
おっぱい揉んで
吸ってもらいたくって、
たまらなくなってるんだ。

今はまだ出ないけど、
母乳だって、キミに吸って、
飲んでもらいたい。
だから、はやく、
ボクを孕ませてえ……ンツ、

ちゅっ、レロツ、ちゅくうツ、
ちゅくっ、ちゅくっ、
ちゅぞぞぞぞぞおツ。

ふふふ、おちんちん、
とってもピクピクしてる♪

出したいの？

ちゅっ。

このままボクの手で、
おちんちんシコシコ、
タマタマもみもみ、
お耳ペロペロされながら、
びゅーって
お射精しちゃいたいのお？

ちゅれろおっ……。

でも、だあーめっ。
射精するときは、
ちゃんと、
ボクのおまんこで、ね？

ちゅうっ♡

うふふふうっ♪
おちんちんが
ビクビクってして
返事をしてくれたよ？

キミもボクの

おまんこの中で出したいんだ。

良いよ、いっぱい出して、

ね？

ちゅっ、れろおっ……。

ほら、もうそろそろ

出そうだったら、

いつもボクがしているように、

自分で

おちんちんの根元を抑えて……、

そうそう、それで、

我慢の限界になったら

ボクに教えて？

おまんこに、射精、

させてあげるから、ね？

ちゅれろおっ。

ほおーら、しこ、しこ……、

ちゅっ、レロっ、ぴちゃあ……、
おまんこ以外で
お漏らししちゃわないように、
自分の手で、しっかりと
おちんちんの根元を抑えてえ……

レロレロ、
ちゅぞぞぞぞぞおっ……。

あぁっ、あぁっ、おちんちん、
びくんびくんして切なそうっ。

出したい？出したいの？
ボクにしこしこされて、
このおちんちんから
びゅーって
射精しちゃいたいの？

あはぁっ♪
もう出ちゃいそう？

じゃあ、ちゃんと言って？
ボクの、ラビナのおまんこで射精したいって。

ラビナのおまんこで射精して、
孕ませて、
いっぱい子兔産ませたいって。

ほら、ほらあ、

ちゆるるるるるるうっ。

よく言えましたっ！

ほらっ、
後ろからおちんちん入れて？

それで、
ボクの奥にびゆるるるるうって。

ンあッ、ああああアンツ！

良しっ！

ンあッ、出て、るう……、
どくっ、どくってえ……、
いっぱい、キミの子種汁があ……。

はあっ、ンッ、

ボクのおまんこに射精出来て、

偉い偉い。

また、いっぱい、

気持ち良くさせてあげるから、ね？

それとも、まだこのまま、

ボクのおまんこに、

パンパンしちゃう？

うふっ、うふふふふうっ♡

トラック 5

おや、おはよう。

まだ寝ていて良いよ。

今日は休みの日だからね。

ボクもこうしてキミと一緒に
ダラダラと微睡んでられる。

一足先に起きたボクは、
じっつくりとキミの寝顔を
堪能させてもらっていたけれど――

って、あははっ、
そんなにボクのおっぱいに
ぐりぐりと顔を押し付けてきて。

昨日もしっかりと搾り獲ったのに、
起きたばかりで
ボクを求めてくれるのかい？

朝立ちもしっかり
しているみたいだし……
嬉しいよ。

しっかりとボクに
夢中になってくれて。

ボクはキミのことが心配だし
一人占めにしたいから、
この部屋から出すわけには
いかないけれど、

こうやって
求めてくれるようになって、
安心もしているよ。

これからも、いっぱいいっぱい
エッチなことをしていこう……

ああんっ♪
おっぱいに吸い付いてきて……
ふふっ、もう我慢
できなかったんだね♪
良いよ。

……ンあっ、乳首、
勃っちゃう……ンう、
キミにおっぱい吸われるの、

気持ち良い……。

良いよ、もっと、

吸って……ンうッ、

ペロペロされるの、

気持ち良い……。

赤ちゃんにおっぱいあげる

予行演習にもなるけれど、

これはエッチすぎかなあ？

……ふふ、おちんちん、

ガチガチだ。

ボクの太腿に当たって、

ピクピクしながら

お汁を漏らしているよ？

……ンあッ、

そんなに揉んでもボク、

まだおっぱい出ないからあ、

キミの頑張り次第だから、ね？

ンッ、アッ、くふうんっ、

おっぱいの吸い方、すごく上手になった……

ンうッ、もっと、
吸って、揉んで、舐めてえ……。

アアッ、甘噛みしても
良いんだからあつ。

ンあッ、はあっ、はあっ、
ボクもお汁が溢れて、
昂奮してるぅ……。
ンッ、ンンンッ……。

ふあっ、キミは
おっぱいだけじゃなくって、
お尻も好きなんだよねえ。
むにむにと無遠慮に揉んで……。
ああんっ。

まあ、ボクも
求められて悪い気はしない、
というか、もっと、
もっと求めてもらいたい……。
ンッ、……こら、
尻尾はぁ……アッ、ンくうっ。

はあっ、はあっ、
おっぱい吸われながら
尻尾も弄られて、
ボク、とっても
体が熱くなってきたよ。

ンう……、腰、動いちゃう……。
キミのおちんぽがとっても
欲しくなってしまうてる……。

はあんっ、キミのおちんぽも
ピクピクとして、
もうボクに
挿れたいんじゃないのかな？

良いよ、
ボクのおまんこに、
おちんちん、挿れて？

ああああアンツ！
入って、きたああ……。
ンくっ、ああんっ！

ボクに覆い被さりながら、

おっぱいちゅうちゅ

吸いながら腰を動かすなんて。

……あははっ、交尾も、

授乳の練習も

いっぺんに出来て、

良い感じだね♪

ンッ……あぁッ、

おちんちんっ、大っきいっ。

……あうッ、ボクの

おまんこの壁を抉られて……

ひいっ、降りてきている子宮、

押し上げられちゃってるのお、

ンぁぁッ、奥も、

ぐりぐりってくじかれて、

気持ち良い……。

アァッ、あぁっ、

……激、しく、

なってきたぁ……っ。

ンうッ、キスう、

キスしようよお、

キミがボクに夢中なようにい、

ボクだって

キミに夢中なんだからあ……

ンッ、ちゆるっ、

ちゆくっ、ちゅぷうっ……。

はあっ、はあっ、

おまんこも、舌も、

気持ち良い……

ンちゅっ、レルレル……。

唾あ、唾、飲ませてえ、

キミの唾、たっぷりと

ごっくんしたいのお……ンうッ、

ぢゆるっ、……ンくっ……ごくんっ。

はあっ、まだ、まだあ……、

足りないのお……

ンンンッ、……ぢゆるっ、

えろっ、れろおっ……、

あむっ、

れちゅっ、れちゅうっ……。

はあっ、はあっ、ふああンッ、

おちんちん、逞しいのお……ひいッ、

頭、馬鹿になってえ、

……もうキミのおちんちんと、

孕むことしか

考えられなくなってるのお……、

ンホああアンッ！

アッ、ンおッ、ほおおおオンッ！

もっとお、もっとズボズボ

ぐちゅぐちゅしてえ……、

それで、ボクを、

孕ませてええ……。

……アッ、アッ、

ンおッ、おホおおオンッ！

……ほおッ、アッ、

ンほおおおおオ〜〜〜ッ！

ひいいッ、イってるうっ、

イってるからあッ、

もっと、

もっともっともっともっと

ボクをイかせて、

おかしくさせて、

ンおッ、ほおおッ！

それで、奥でいっぱい、

びゅるびゅる注ぎ込んで、

孕、ませ、てええッ！

ンほおおおオ〜〜〜ッ！

ンあッ、あああッ、

……出て、るう……。

いっぱい、いっぱい……。

キミの特濃子種汁、

おまんこの、奥深くにい……

ンアッ、孕んだあ……、

これ、絶対孕んだよお……。

うふふ♪

もしもまだ孕んでなかったら、

まだまだ注ぎ込んでもらえば

良いわけだから……。

これからも、よろしくね、

ボクのペット。

これからも、優しくいっぱい、

気持ち良くしながら、

飼ってあげるんだからぁ。

ンふっ、ンふふふふふうっ……♪